

「JICA食と農の協働プラットフォーム」のご案内

～開発途上国の持続的開発目標(SDGs)・ゴール2(飢餓をゼロに)達成に貢献するための産官学の情報共有・協働体制構築メカニズム

JICAは、2019年4月に、ODA事業等で連携を深めてきた皆さま方とともに、これまでの関係をさらに発展させるため、「JICA食と農の協働プラットフォーム」を立ち上げました。民間企業／業界団体、大学／研究機関、国際機関、NGOやメディア、政府機関など、ご関心のある方は、**どなたでも参加いただけます。**

I. JICA 食と農の協働プラットフォームの実施要項

(1) 目的

- 「**持続可能な開発目標 (SDGs)**」の達成に向けて、国内の産官学関係者が途上国及び日本の課題解決のための活動を促進するために、ゆるやかなネットワーク(プラットフォーム)を設置するもの。
- 情報や経験の共有等を通じて、同ネットワークの中から、**様々な『共同活動』を産み出すことを目標**とする。

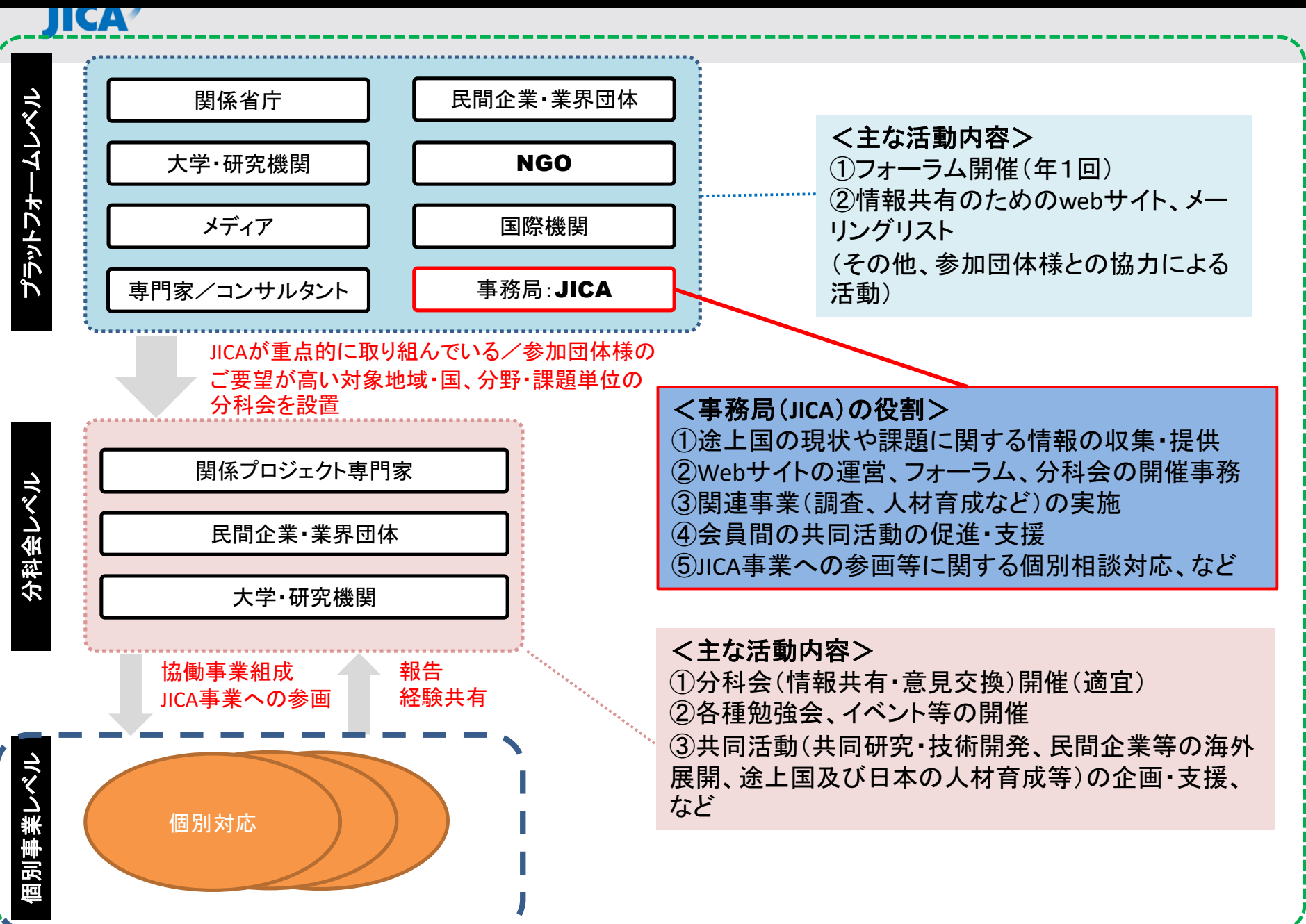
(2) プラットフォームの枠組み

- 対象範囲**: 関係省庁、政府機関、大学／研究機関、民間企業／業界団体、市民社会、国際機関など、開発途上国の農林水産及び食料・栄養分野に関係する団体又は個人。また、必要に応じて、途上国政府とも連携を行う。
- 活動内容**: ①途上国の農林水産及び食料・栄養分野における情報・経験の共有、②各種勉強会、イベント等の開催、③共同活動(共同研究・技術開発、民間企業等の海外展開、途上国及び日本の人材育成等)の企画・支援
- JICAの役割**: ①途上国の現状や課題に関する情報の収集と提供、②関連事業(調査、人材育成等)の実施、③会員間の共同活動の促進・支援、④JICA事業への参画等に関する個別相談対応、⑤事務局運営など

(3) 運営方式: 活動計画・報告は、年1回のフォーラムで実施。JICAが事務局。

(4) 参加料: 無料(事務局の運営経費はJICA負担)。※オンライン参加通信費は自己負担

II. JICA 食と農の協働プラットフォームの取組イメージ



分科会新旧対照表と22年度計画

新分科会名	旧分科会名	内容(検討中)	開催目安
フードバリューチェーン (含む農業DX)	アセアンFVC ミャンマー インドネシア	東南アジアFVC案件形成に係る意見交換	年1~2回
	中南米FVC	中南米FVC調査を通じた企業マッチング、ブラジルFVC案件紹介	年2回
	スマートFC	スマートFC課題別研修(帯広・筑波)等を通じた人材育成	(検討中)
	ゴマ	パラグアイ事業に関する関係者への情報発信	年1回
アフリカ農業	農業機械	アフリカ先進農業技術の導入促進事業(AFICAT)の実証段階	2022年3月16日 年2回
	アフリカ稲作 アフリカFVC	2022年8月開催予定のTICAD8に係るJICA農業・栄養分野の報告	2022年9月頃
水産	水産	島嶼国ブルーエコノミー事業戦略、内水面養殖	年1回
畜産・家畜衛生	畜産・家畜衛生	畜産・家畜衛生事業戦略	年1回
農業と気候変動(新規)		農業とレジリエンスの取組等についての情報発信及び意見交換	年2回

見直しをしたもの

旧分科会名	対応方針
人材育成	アグリ・ネットワーク(JICA農業分野留学生の月例オンラインミーティング)の活用、及び、JICA・JISNASフォーラム(毎年12月)の実施に替える。
日本の地方創生	責任ある外国人労働者受入れプラットフォーム(JP Mirai)が設立(2020年11月)され始動している。

JICA 食と農の協働プラットフォーム (JiPFA) についてのお問合せ、会員登録をご希望の場合は、HPをご確認のうえ、以下のメールアドレスにご送付ください。

◎メールアドレス：jipfa@jica.go.jp

◎JICAのHP“JICA食と農の協働プラットフォーム (JiPFA)”

<https://www.jica.go.jp/activities/issues/agricul/jipfa/index.html>